

衆議院議長 様  
参議院議長 様

## 横浜ノースドックへの米軍揚陸艇部隊配備撤回と ノースドックの早期全面返還を求める請願署名

2023年1月12日、防衛省は日米安全保障協議委員会2+2の合意を受けて、沖縄の海兵隊を「海兵沿岸連隊（MLR）」に改編することと合わせて、横浜ノースドック（ND）に小型揚陸艇部隊（13隻280名体制）を新たに編成、常駐させると発表しました。

同年4月16日に幹部要員5名が配置されたのに続き、2024年2月8日には隊員を40余名に増員、本格的に運用を開始しました。

横浜港の瑞穂ふ頭は1925年に埋め立て開始、1945年完成。港湾として一度も使われることなく、1946年に米軍が接收、ノースドックと呼ばれるようになりました。横浜港の中心的位置にあり、経済の発展を阻害してきました。

1972年に相模総合補給廠で修理し、ベトナムに向かうM48戦車をND手前の村雨橋で労働者・市民と当時の横浜市長が道路法の重量制限を掲げて止めた歴史があります。

また、2023年11月29日に屋久島沖で墜落し、乗員8名全員が死亡した横田基地所属のCV22オスプレイもNDから搬入された機体です。

揚陸艇部隊は兵員・武器・弾薬等を搬送する兵站部隊であり、NDへの揚陸艇部隊配備は、南シナ海や東シナ海の島々で展開する「海兵沿岸連隊」、南西諸島などの自衛隊のミサイル部隊と一体となった対中国との戦争準備の具体化です。これまで国是としてきた専守防衛を投げ捨て、NDを沖縄・南西諸島と結ぶ補完部隊の出撃基地とすることを内外に宣言するものであり、沖縄、横浜は真っ先に相手国の反撃の標的になります。

「専守防衛」は日米安保条約の下でも日本が国土防衛に徹し、周辺諸国の脅威にならないことを世界に明らかにし、78年間にわたって日本の平和と経済繁栄を支えてきました。

NDへの揚陸艇部隊配備は、米国の世界戦略に追従し、日本列島を戦場として差し出すことに他なりません。日本国憲法の平和主義をふみにじり、戦後の日本の安全保障政策を根底から覆すものであり、断じて容認できません。

以上の点から、私たちは次のことを求めます。

### 請願項目

- 横浜ノースドックへの米軍揚陸艇部隊配備を撤回すること
- 横浜ノースドックを早期全面返還すること

氏名	住所
	都道府県

【呼びかけ団体】 横浜ノースドックへの米軍揚陸艇部隊配備反対連絡会（ND反対連絡会）

【連絡先】 〒231-0064 横浜市中区野毛町2-61 大澤屋ビル4A TEL 045-231-0103

e-mail [ndyhantai@gmail.com](mailto:ndyhantai@gmail.com) 【取り扱い団体】（ ）